能登半島地震後の七尾市・穴水町・珠洲市・志賀町行政視察報告書

教育厚生委員長　鈴木 優治

10 月 13 日、10 月 14 日、10 月 15 日の２泊３日の能登半島地震後の２市･２町の行政視察を実施しました。初日、朝 6:30 に市役所前を出発一路能登半島へのバス移動でした。新東名高速道路～東海北陸自動車道を進み、途中のパーキングにて昼食を取り七尾市に着。

【七尾市】10 月 13 日　14:30～16:30

視察団代表者挨拶後　七尾市議会　議長　佐藤　喜典様より歓迎挨拶を頂きました。義援金、職員派遣のお礼をいただきました。

令和６年１月１日　午後４時 10 分振動６強の地震、津波警報発令、大津波警報と当日を思い起こしているかのような緊迫のお話しをされていました。正月元日、日本海側の一番キツイ季節、思いもよらぬ時の災害でした。とのお話、つまり災害はいつ遭遇するかの予測すらできない出来事だとの事をしみじみと聞きました。

また、行政職員の集合は正月でもあり３割程度になった。職員の全員が揃ったのは１月４日だったそうです。その後市民生活部　危機対策課から、当方の事前質問を踏まえた上で「能登半島地震の際の防災対応について」の座学研修、「令和６年度能登半島地震」の概要（地震の規模）、（津波に関する情報）、（地震の発生回数）、（建物等被害の状況）、（人的･建物被害）、（道路被害①）、（道路被害②）、（断水被害①）、（断水被害②）、（学校被害）、（発災当初の市役所）、（支援物資対応）、（災害対応協定による対応）、（避難所関係①）、（避難所関係⑤）、（避難所関係⑥）、（避難所関係④）、（避難所関係②）、（避難所外避難者の対応）、（応援自治体の活動状況①）、（応援自治体の活動状況②）、（ボランティア支援）、（支援する側の課題）、（復興に向けた取り組み･被災者支援の各種制度）、（復興に向けた取り組み：公費解体･自費解体）、（復興に向けた取り組み：復興公営住宅）、（まとめ、①～⑥）、　資料（写真も含む）を提示して丁寧な説明を頂きました。各委員からの質問も受けていただきました。

【穴水町】11 月 14 日　09:30～11:10（能登ワイン視察含む）

義援金贈呈式（下山議長～吉村　穴水町長）

歓迎挨拶を穴水町長　吉村光輝氏　穴水町議会議長　佐藤　豊氏両氏よりいただきました。その後伊豆市議会より挨拶を行いました。

座学研修は環境安全課　門間　直人氏により。「令和６年度能登半島地震発生時における災害対応」～みんなで創ろう　未来のあなみず～をテーマにおこなわれました。１．穴水町の概要　２．地震の状況　３．被害及び復旧の状況　４．被害家屋の分布図　５．発災時からの穴水町の震災対応状況　６．震災対応の課題　７.課題を踏まえての備え　８．震災対応で有効であった取り組み①　８．震災対応で有効であった取

り組み②　９．穴水町の復興計画　10．復興の推進体制　11．復興計画の推進体制　12．推進管理の実施　13．復旧･復興状況の見える化　について資料（写真も含む）を提示して丁寧な説明を頂きました。予定時間が少なくなり当議員から対応御礼を申し上げ穴水町営の能登ワイン（株）の施設見学に移動しました(穴水町から、是非とも施設運営状況を見ていただきたいとの依頼されたため)。　後珠洲市に向かう。

【珠洲市】13:30～15:30

義援金贈呈（下山議長～泉谷　満寿裕　珠洲市長）

歓迎挨拶　珠洲市長　泉谷　満寿裕　珠洲市議会議長　番匠　雅典　両氏より

市長より義援金に対するお礼の言葉があり、正月元日の夕刻にまさかこのような地震、津波があることは想像だにしなかった。と、その時を思いだすように話されました。話は災害対応にまで触れ、予定時間をオーバーするほどの熱弁であった。その後伊豆市議会から挨拶を行いました。座学研修へ　環境建設課長　大宮　準司氏より「令和６年度能登半島地震･奥能登豪雨からの復旧･復興」の説明がありました。(珠洲市の概要)　(地震の概要)　(仁江地区における被災状況)　(国道 249 号被災状況)　(主要幹線道路被災)　(道路被災状況)　(津波による被害)　(地震よる地殻変動)　(避難所･避難者数の推移)　(地震の被害)　(珠洲市の被害)　(発災直後の対応)　(発災直後からの人的支援)　(自衛隊による支援)　(水道施設の被害状況)　(水道施設の応急復旧状況)　(下水道施設の被災状況)　(下水道マンホールの応急仮復旧工事)　(公共下水道区域の見直し)　(応急仮設住宅について)　(災害廃棄物の仮置き場)　(公費解体申請)　(災害廃棄物の仮置き場)　(災害廃棄物処理と公費解体)　(珠洲市復興計画)　(復興公営住宅･市賃貸住宅の整備)　(災害時に起こった課題)　上記の説明を受けました。その後見附公園の仮設住宅の視察を行いました。その後宿泊地七尾市に向かう。

【志賀町】10 月 15 日　9:00～11:00

義援金贈呈（下山議長～志賀町議会　議長　福田　晃悦氏）

歓迎挨拶　志賀町　議長　福田　晃悦氏　義援金の御礼を頂きました。また遠路の行政視察ご苦労様です。とのご挨拶をいただき、その後伊豆市議会から挨拶を行いました。座学研修では総務課長　上滝　達哉氏　危機対策課長　黒萩　正恵氏が説明担当をしていただきました。＝令和６年能登半島地震地震の対応＝―石川県･志賀町の経験から―（令和６年能登半島地震の特徴と生じた課題)　(人的･ライフライン被害)　(被害の全体像)　(インフラ被害の状況)　(避難･応急仮設住宅･公費解体の状況)　(復興計画から総合計画へ)　(①人口減少：「人が帰る」町であるために)　(②震災復旧の進捗：「元に返る」への道のり)　(③行政の効率化：「町を変える」―財産の適正化)　(復興公営住宅の整備)　(住まい･跡地、事業者･地域コミュニティへの復興支援)　委員よりの質問を受けていただきました。その後応急仮設住宅の視察、公営住宅予定地の視察をさせていただきました。

２市２町の行政視察をしました。被災時、被災後の現地調査ができ、直接お話しを伺えたことを、今後の伊豆市のまちづくりに活かしていきたいと思いました。
どちらの市町でも強調していた事柄、以外に思えた事柄を列記いたします。

＊避難所関係：冷暖房設備の充実強化、仮設トイレの確保（数量の確保、簡易トイレが有効)、セントラルキッチン方式での炊き出し
＊災害廃棄物仮置場の確保（平常時でも指定）
＊広い地域下水道事業は問題がある（一部の区域では下水道から浄化槽へ転換）
＊スターリンクの有効性（通信手段）

いずれにしても向きさえ違え能登半島、伊豆半島共通の課題を抱えております。２市２町の関係者の皆様には復旧･復興のさなかにもかかわらず、私どものため貴重なお時間をいただきましたことに、心から御礼申し上げるとともに、いただいた貴重なご説明やご教示を、今後の伊豆市のまちづくりや市民福祉の向上に生かしてまいりますと改めて心に留め置きをいたしました。

以上行政視察報告いたします。